

寺報

No.614

平成30年10月

蓮華寺
發行

御聖訓

さどの国と申し、此の国と申し
度々の御志ありて、たゆむけし
きはみへさせ給はねば、御本尊は
わたしまいらせて候なり。

『新尼御前御返事』



体育の日

(解説)

『新尼御前』は本当に法華経への信仰心の勝れた方でしたので、このお手紙を日蓮大聖人より戴きました。

「私が佐渡に流罪された時も、またこの身延の山へ入ってから、度々の厚い志しを寄せられ、信仰心がゆるむ事は一度もありませんでした。

そこであなたに御本尊を授与したいと思えます。」皆様の中には、仏壇を用意しても御本尊をお祀りしていない方がときおり見られます。

日蓮宗の檀信徒は、必ず大曼荼羅御本尊を中央に安置しなければなりません。

しかし、この文章から御本尊は当時の人は日蓮大聖人からその信仰心の強さが認められて初めて、その証しとして授与された、誠に有り難いものであるという事がお分かりになると思います。

ですから、御本尊をお祀りするという事は、大聖人のみ教えを実行すると誓ったのと同じ事なのです。皆様も、御本尊の前では心を込めて法華経・お題目を唱え、より強い信仰心を養っていきましょう。

御会式

十月二十八日(日)

午後一時より

※法要終了後、ご法話あり



今回は若手で
優秀な先生が
お話をします。

*本年は、第七百三十七回目のご法事に当ります。
檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。

*お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

*先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

*法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

日蓮大聖人のご生涯の最後の旅は、九ヶ年を過ぎし法華経・お題目を唱えられた身延山を下山され、湯治の為に常陸の湯(茨城)へと向われた時であります。しかし、旅の途中の弘安五年(一二八二)の九月に、武蔵の国(東京)の池上に着かれた時には、体力にも限界がみられ、大聖人は自ら此処を臨終の地と決められたのです。

そして、その後の十月十三日の朝、沢山のお弟子やご信者のお題目が響く中、世寿六十一歳を以て大聖人は眠るが如くお亡くなりになりました。

大聖人の御入滅はご遺言通り、お墓は身延山に立てられ、七百三十年経た現在でも、この地は大聖人の御魂が永遠に棲む日蓮宗の聖地となっています。

自らの魂の安住の地と定めた、この身延山を下りられる事は、大聖人にとっては偲びがたい事であったと思われまます。

何故なら、下りられる時には、大聖人はお名残り惜しそうに何度も何度も後ろを振り返られたそうです。

我が檀信徒は、この心の【ふるさと】であります身延山を忘れてはいけません。

『御会式』に参拝 しましょう!

日蓮大聖人は「たとえば法華経の一字一句でもいいから自ら唱え、その教えを戴き、更に他の人にもその有り難さを伝えるならば、その人はお釈迦様のお使いといえよう」と申されました。

つまり、信仰で一番大切な事は、我々の行いであるという事です。

法華経・お題目を心の支えとして、一生懸命生き抜く事がいわゆる身で読むお経であり、仏様が何よりも喜ばれる事なのです。

布教の為に、数知れないご法難を受けられた大聖人こそが、我々のお手本となられた事はいうまでもありません。

『御会式』はその日蓮大聖人のご命日法要、御法事です。

どうか皆様も、もう一度【御報恩】というものを考えてみてはいかがでしょうか。

もし日蓮大聖人がおいででなかったら、当然蓮華寺もなく、また皆様をお助けする御祈祷や霊断やお守りも

なかったのです。

ただ仕事や遊びに追われて一生を終わる事なく、心にゆとりを持ち、報恩感謝の為に法要に参列し、日蓮大聖人へご焼香する事が、ご恩返しになるのではないのでしょうか。

是非この大事な『御会式』の行事には、必ず参拝して下さい。

◎日蓮大聖人 聖語カレンダー

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円
④《限定販売》

◎平成三十一年度「暦」
一部・・・一五〇円

★いづれも十月一日から販売します。

たつのくちごほうなんえ 竜ノ口御法難会

十月十三日(土)

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

②『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

檀信徒研修会のお知らせ

十月二十日(土)

『聖典の読誦と唱題行』

担当…住職上人

*聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

*お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を心から唱えましょう。

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【ご相談料は一件につき三、〇〇〇円です】

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈禱を行っています。青森は十一月ですと雪の心配がありますので、早い月から受付しています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十四年生れの女兒

◎五歳・平成二十六年生れの男児

◎三歳・平成二十八年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、日蓮宗のご祈禱をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」^{きただ}「千歳飴」^{ちとせあめ}「千支のキーホルダー」^{ちしちのキーホルダー}「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



☎776-5840

『位牌壇』募集中!

★毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後に渡りご供養されていきます。

★仏様の御命日に不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』に追膳をお上げし、またお経も唱えます。

★青森は冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★最近、仕事などの関係から家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、位牌堂に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りするという方もいます。

『聖徒団会員』募集!

毎月の「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂のお花、新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費…年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』の募集!

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

ボランティアについて

蓮華寺護持会『常任評議員』

山本 治男



「天災」というものは、突然襲って来るものであります。それとは反対に「人災」はある程度予測でき、事前に防ぐことができます。

日々平穏に暮らしている中で、いきなり予想だにすらしなかった天災に見舞われたら、普通誰でもパニックに陥り、自失茫然となり、これから何をどうすれば良いのか、全くわからなくなるのが当たり前です。そのような時、声を掛け様々なお手伝いをしてくれるボランティアの人が居ればどんなに心強いことか。

最近、日本全国災害に見舞われています。東日本大震災しかり、熊本地震、関西地方の大洪水、台風21号

の風被害、そして北海道の大地震と立て続けに起こっております。日本ばかりか世界中に異変が起きております。

そして災害が起こる毎に、現地に災害物資が集まり自衛隊・消防隊員の他に何千何万というボランティアの人々が集合し救助活動をしているのを、テレビ等で見る度に頭が下がる思いです。

しかし現地では余った物資の処理に困っているのが現状です。またボランティアの人達の献身的な働きに被災者の方々には心より感謝していますが、余りにも一所懸命になり過ぎ、先日熱中症で倒れてしまったボランティアの方々がおられます。私としてはその行動力を羨ましく思うのですが、現地では迷惑かけない、邪魔しない、自分のできる範囲でやるべきで、無理するくらいなら、仲間募金を集め支援するのも、ひとつのボランティアの形だと思います。

プロに任せること、自分でできる範囲のボランティアであること、これがスピード感のある復興につながるのではないのでしょうか。それぞれの地域の一日でも早い復興を願っております。

十月の行事

一日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日(土) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 皆様も日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(土) 『竜ノ口御法難会』 午後一時より

二十日(土) 檀信徒研修会 午後七時より

二十三日(火) 妙見小祭 朝のお勤め中

二十八日(日) 『御会式』 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

二十三日(火) 『御会式』花作り・・・午前九時より

② 『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様の奉仕で作られています。どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

二十六日(金) 『御会式』の準備

・ 教宣部男女・・・午前九時より
* 大本堂の幕、ノボリ、ちょうちん、祭壇等の準備

二十八日(日) 『御会式』のお手伝い
・ 教宣部男女・・・午前十時より

二十九日(月) 『御会式』の後片付け
・ 教宣部男女・・・午前十時より
* 大本堂の幕、ノボリ、ちょうちん、祭壇等の後片付け

③ 『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。
沢山の方々のご奉仕をよろしく願致します。
教宣部員以外の方の檀信徒の方も歓迎致します。
◎ 奉仕部長・山田兼補 ◎ 伝道部長・小野正春
◎ 教宣部長・杉淵昌三

お え しき
御 会 式

*法 要

十月二十八日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

新講師：日蓮宗靈断師会・指導局講習部長
広島市安佐南区八木

龍華寺住職 大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。